

学生への報告

2008 年度授業アンケートの結果について

白梅学園大学・白梅学園短期大学
自己点検・自己評価委員会

1. アンケート調査の目的

2008 年度が終わりに近づいています。この1年の白梅学園での学習や研究はいかがでしたか。それぞれの皆さんのなかでふりかえり、総括につながってきているでしょうか。

白梅学園では2002年度より学生の皆さんたちに授業アンケートを行って回収し、それらの内容から授業の改善をめざしてきています。さらに、客観的な評価を行うために、次のように取り組んできました。

- (1)ゼミナール等を除いて全ての授業でアンケート実施すること
- (2)アンケートの回収を授業担当の教員ではなく事務の方々をお願いしたこと
- (3)記述の部分を電子データ化と評価の数値の平均とを合わせて授業担当者に渡し、残された期間の授業の対応と学生の回答へのコメントを求めたこと
- (4)アンケート結果と授業担当者のコメントをまとめて、教員の自己点検・自己評価委員会として学生の皆さん方にアンケート結果を報告すること
- (5)以上を前提に、次年度の授業をより良いものするために、教員と学生で作って行く契機とすること

2. アンケートの経過と結果

前期は7月初旬にアンケートを実施し、授業担当者に7月中に結果を戻してコメントを求めました。後期は12月中旬にアンケートを実施し、1月下旬には授業担当者にアンケートの結果を配布してコメントを書いてもらいました。そして残された期間での授業の改善をお願いしました。

以下に、学生の皆さんへのアンケート結果全体と、授業担当者からのコメントを参考にして、授業アンケートについてのまとめの報告をします。

(1) 授業アンケートについて

質問項目は以下の通りですが、アンケートの回収率は、前期が74%（昨年度84%）で7割を越えましたが後期は62%（昨年度73%）と低下しました。回収率は昨年度に比べて低下しています。次回は学生の皆さんの積極的な参加をお願いします。

全体的な平均では前期、後期ともに4.0を越えました。昨年度に比べるとやや向上しています。（前期0.21ポイント、後期0.08ポイントの向上）

学科ごとにみると、大学子ども学科1年生が昨年度に比べて向上しています。また短期大学では心理学科、福祉援助学科とも昨年度に比べて向上をしています。

全体の平均としては前述のように4.0を越えていますので、学生の皆さんが白梅の授業に一定の評価を行っていることが伺えます。以上の全体の評価をふまえて、次頁よりアンケート結果を分析します。

(2)2008年度授業アンケートの集計結果

1. 毎回の授業の目的が明確で、それに沿って行われていましたか
2. 今までの授業全体の内容を理解できましたか
3. 教員は、授業内容に熱意を持っていましたか
4. 教員は、学生の理解度に配慮していましたか
5. 授業での教員の声の大きさや言葉づかいは適切でしたか
6. 板書や教材などは見やすかったですか
7. 成績評価の方法と基準は明確に理解できましたか
8. あなたは、この授業に熱心に参加しましたか
9. 分からないことは、質問したり調べたりしましたか
10. この授業を受講して、その分野についての新しい知識や技能が得られましたか
11. この授業について、総合的に満足していますか

前期	履修	回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	平均
子ども学科1年	1,706	1,548	4.37	4.01	4.47	4.08	4.32	4.08	4.00	4.32	3.74	4.32	4.20	4.15
子ども学科2年	2,120	1,132	4.32	4.00	4.37	3.99	4.23	4.02	4.00	4.07	3.67	4.16	4.03	4.05
子ども学科3年	1,847	1,155	4.29	3.95	4.53	3.96	4.20	4.03	3.81	4.06	3.63	4.30	4.10	4.06
子ども学科4年	513	427	4.30	3.96	4.54	3.94	4.36	3.90	3.92	3.94	3.42	4.15	4.05	4.02
教養教育	1,581	1,298	4.23	3.89	4.35	3.99	4.25	3.94	3.87	4.09	3.74	4.07	4.03	4.23
保育1年	1,172	1,103	4.38	4.09	4.51	4.16	4.30	4.06	3.99	4.26	3.78	4.36	4.23	4.38
保育2年	2,062	1,460	4.21	3.98	4.32	3.96	4.17	3.83	3.83	4.10	3.69	4.19	4.00	4.21
福祉援助1年	493	446	4.33	4.01	4.35	4.10	4.34	4.10	3.98	4.09	3.83	4.23	4.16	4.33
福祉援助2年	331	223	4.15	3.87	4.07	3.82	4.10	3.82	3.90	3.94	3.54	4.02	3.90	4.15
心理1年	379	298	4.29	3.81	4.15	3.88	4.18	3.93	3.82	3.98	3.74	4.04	3.86	4.29
心理2年	514	369	4.31	3.86	4.33	4.08	4.37	4.10	3.98	3.99	3.33	4.14	4.11	4.31
専攻科福祉	108	91	4.51	3.92	4.64	4.11	4.42	4.16	3.78	4.16	3.68	4.31	4.18	4.51
74%	12,826	9,550	4.31	3.95	4.39	4.01	4.27	4.00	3.91	4.08	3.65	4.19	4.07	4.22

後期	履修	回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	平均
子ども学科1年	1,571	1,249	4.33	3.98	4.38	4.00	4.23	3.93	3.84	4.13	3.66	4.18	4.09	4.07
子ども学科2年	2,512	1,024	4.30	3.99	4.49	4.05	4.29	3.98	3.85	4.06	3.66	4.21	4.06	4.09
子ども学科3年	1,376	792	4.33	3.95	4.61	3.97	4.22	4.01	3.67	4.07	3.62	4.31	4.09	4.08
子ども学科4年	152	122	4.55	4.40	4.70	4.54	4.58	4.43	4.11	4.35	3.90	4.54	4.45	4.41
教養教育	1,095	701	4.17	3.77	4.26	3.81	4.15	3.83	3.87	3.91	3.60	3.99	3.97	3.94
保育1年	1,566	1,237	4.31	4.06	4.36	4.00	4.26	3.99	3.87	4.13	3.74	4.29	4.10	4.10
保育2年	1,599	813	4.20	4.01	4.41	3.96	4.25	3.89	3.90	4.16	3.65	4.23	4.06	4.07
福祉援助1年	667	534	4.21	4.02	4.17	4.01	4.16	3.92	3.88	3.97	3.74	4.05	4.00	4.01
福祉援助2年	343	167	4.25	3.85	4.23	3.94	4.19	3.87	3.78	3.89	3.60	4.13	3.98	3.97
心理1年	422	332	4.19	3.75	4.17	3.88	4.17	3.97	3.84	3.95	3.70	4.02	3.96	3.97
心理2年	186	151	4.34	3.86	4.18	4.02	4.21	3.94	3.92	3.90	3.40	4.06	3.98	3.98
専攻科福祉	63	55	4.37	4.08	4.43	4.35	4.47	4.25	3.97	4.19	3.88	4.32	4.25	4.23
62%	11,552	7,177	4.30	3.98	4.37	4.04	4.27	4.00	3.88	4.06	3.68	4.19	4.08	4.08

(3)2008 年度授業アンケートの分析

前頁の表を縦にみると各項目別の平均の合計があります。前・後期共に「1.毎回の授業の目的が明確で、それに沿って行われていたか」の質問では全学科で概ね「5.そう思う」から「4.ややそう思う」の間の回答をしていました。しかし、「今までの授業全体の内容が理解できたか」については、昨年度よりは向上しているものの全学科で概ね「4.ややそう思う」をやや下回る回答であり、授業理解という点で課題が残されています。

「3.教員は、授業内容に熱意を持っていたか」の質問では全学科で概ね「5.そう思う」から「4.ややそう思う」の間の回答であり、教員の熱心さには肯定的な評価をしていました。「4.教員は学生の理解度に配慮していましたか」の質問では、評価が前後期ともに「4.ややそう思う」を越えており、昨年度より向上をしています。授業がややむずかしいということがあるのかもしれませんが、教員も学生への理解に配慮をしていると見られます。

「5.授業での教員の声の大きさや言葉づかいは適切か」、「6.板書や教材などは見やすかったか」は、「4.ややそう思う」を越えており、昨年度に比べて向上していますので、授業方法の工夫について努力していると思わせるのではないかと読み取れます。

「7.成績評価の方法と基準は明確に理解できましたか」は、前後期ともに「4.ややそう思う」よりも低くなっていますが、これはまだまだ成績評価の方法や基準が十分に伝わっていないことを示しています。これも大学としての取組も含めて今後の課題となります。

「8.あなたは、この授業に熱心に参加しましたか」及び「9.分からないことは、質問したり調べたりしましたか」は昨年度とほぼ同じですが、特に問9の数値が低いことが気になります。

「10.この授業を受講して、その分野についての新しい知識や技能が得られましたか」は、前期後期ともに評価が「4.ややそう思う」を越えていますので、学生の皆さんが授業で何かを掴んでいるということが見えてきます。

「11.この授業について、総合的に満足しているか」の質問に関しては各学科によるばらつきがありますが、昨年度に比べて数値が向上しています。印象として満足できる授業になっていることが読み取れます。

全体的には、教員が授業の目的を明確にしながら熱意を持って授業に取り組んでいると評価し、授業内容の理解については改善してきている結果になっているとみなせます。教員側の学生の実態に配慮した授業展開についても改善はしてきていますが、分からないことを質問したり調べるといった学生の側の努力が求められているという結果です。

なお、記述の部分で、様々な施設上の問題点が具体的に指摘されています。学習環境は意欲的に学習する上で重要ですから、しかるべきところで検討し、改善できるように資料とさせていただきます。

自由記述内容から、教員への改善要請としてまとめられたことは以下です。

- ・ 授業開始時間と終了時間の厳守
- ・ 授業環境について配慮（施設、プライバシー保護、学生の私語への注意法など）
- ・ 授業方法・技術について（見やすい板書、情報機器使用における展開のスピード、聞き取りにくい音声やことばの表現など）

大変重要な指摘を記述していただきました。教員のあり方の指摘でもあります。真摯に受けとめて改善していくことに努めます。

また、教務側への要請に、時間割編成と施設の関係の指摘がありました。改善できることは次年度から実施するという回答を得ています。

(4) 授業担当者からのコメントについて

前期、後期ともにアンケート結果の数値と記述部分を電子データとして入力し、授業担当の先生方に読んでいただき、それをふまえて先生方からコメントをいただきました。整理すると以下ようになります。

- ① 授業の進度や教材の提示・機器類の使用方法や説明・方法など、改善すべきところについて、真摯にうけとめ、改善できることを積極的に行います。
- ② 知識の幅の広がりを感じてもらえているものの、ともすれば難しくなる傾向があることについては改めて見直し、「わかりやすい」授業を目指して工夫をしていきます。
- ③ 評価方法については、説明をしていたつもりでわかってもらえていると思い込んでしまったかもしれません。今後は伝わっているのかどうかについてもよくみながら、説明を丁寧に行うようにします。
- ④ 質問や事前学習などがあまりなかったことは残念でした。積極的に質問などがあるとより授業が展開していくものと思います。期待しています。
- ⑤ 音声のとおりにくさや板書きがみえにくいなど、指摘されて始めて気づきました。その後改善してみました。
- ⑥ 学生の理解度に配慮し、学生が主体的に学んでいけるように工夫を重ねていきたいと思えます。学生たちと対話しながらすすめていけるようにしたいと思います。

私語や遅刻が多い授業もあるようでした。その教員たちは大変苦慮しています。学びやすい、楽しく、面白い授業をどのように構成していくのかについては、教員側に求められてくることではありますが、上記のような問題があると、その学生さんたちに指摘する方法やその表現方法も難しく感じています。授業も相互作用によって進められていきます。学ぶ環境づくりをともに創っていきようでありたいです。

3. 今後の進め方について

大学での授業は最も重要なテーマです。学生の皆さんと授業担当者である教員、そしてそれを支える事務職員のそれぞれの努力があって初めて有効に機能します。したがって今後も授業アンケートを資料にしながら改善をすすめていきたいと思えます。

専門的な知識や技能については、教員のほうが学生の皆さんよりも持っていることは確かです。それをどれだけ次代を担う皆さん方に確実に伝えていくのが教員の重要な任務でもあります。そのためには担当する教員と学生の努力、そして事務職員の協力が必要です。この1年の授業及び学生の授業評価から判断すると、概ねその努力や協力が生かされているのではないかと判断しています。もちろん不十分な点は多々ありますが、それをお互いに補い合いながらよりよい授業づくりをすすめられたらと思えます。

在学生の皆さんへの次回の授業アンケートは、2009年7月と12月に実施を予定しています。アンケート項目などで意見などありましたら自己点検・評価委員会までお寄せ下さい。

なお、来年度からFD(学生にわかりやすい授業展開をするための工夫の取り組み)活動を活発にする予定にしています。白梅学園全体ですすめていきます。授業担当者にとっては、新たに多くの人たちの評価を受けて課題などを見出し、修正する機会を得ていくこととなります。この授業アンケートとともによりよい展開を目指していくこととなります。